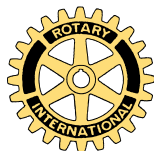


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 太田 宗一郎
幹事 杉浦 文雄
会報委員長 小川 耕示

2010 ~ 2011年度 国際ロータリー Ray Klinginsmith (レイ・クリンギンズミス) 会長テーマ

Building Communities Bridging Continents 地域を育み、大陸をつなぐ

第2715回例会プログラム

[当年度=34回目; 当月=3週目]

2011年(平成23年) 4月18日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
※第3四半期皆出席表彰(出席委員会)
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(4/25) ……
観劇家族例会(親睦活動委員会)
「ルナ・レガーロ名古屋公演」
12:00 ~ ナゴヤドーム北特設会場
(5/2) ……休会
(クラブ定款第6条第1節(c))

2. クラブフォーラム……………〈雑誌委員会〉

- 13:00 卓話「私のコダワリ」
講師 津田工業株式会社
前社長 都築 功 様
(紹介者 津田 鎮輔 会員)
13. 謝辞
14. 点鐘……〈会長〉
15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

出席

会員総数 89名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名
欠席 10名 出席率 88.24%
前々回(4/4)の修正出席率 100%

会長報告

- 4月14日名古屋グリーンCCにて3Cゴルフ大会及び月例が開催され、3CはOUT44 IN49の93で嶋津会員が、月例会はOUT49 IN42の91で神谷光義会員が優勝されました。
- 4月17日刈谷文化協会創立35周年記念式に出席、感謝状をいただいてまいりました。
- ポールハリスフェローの認証状が杉浦文雄会員に届いております。お渡しします。

ポールハリスフェローの認証状授与



杉浦 文雄 会員

幹事報告

- 本日例会終了後理事会を開催致します。関係の皆様よろしく申し上げます。

会長あいさつ

レンブラント展と牧野邦夫展

太田宗一郎



先日東京上野の国立西洋美術館のレンブラント展と「何でも鑑定団」で馴染みの鑑定士の永井龍之介さんの永井画廊で行われている牧野邦夫展に行ってきました。牧野邦夫は1986年に61歳で亡くなった画家であります。若い頃からレンブラント

を目標に古典的な技法でありながら、シュール的な彼独自の世界を描いてきた画家であります。

今回は牧野邦夫が目標としていたレンブラントの展覧会と牧野邦夫の展覧会を続けて見られたことが大変面白かったです。

レンブラント展はオランダのアムステルダムにあるレンブラントハイスという版画の美術館の版画作品を中心に他の美術館の版画作品もあわせた展示であり、その上に3点のデッサンと10数点ほどの油彩画を合わせて展示されておりました。レンブラントハイスはレンブラントが住んでいた家をそのまま残しており、現在はそこをレンブラントの版画の美術館としており、レンブラントの版画の作品が常設されている美術館です。今回のレンブラントの油彩画は割合小さな作品が多く集められており、また、その絵には、昨日書いたようなみずみずしさがああり、近くでゆっくりと観賞し楽しむことが出来ました。

レンブラントの版画は銅版画の中のエッチングが中心であります。ドライポイントやエングレービングも併用しており、力のこもった作品が沢山来ております。今回の展覧会の特徴は、作品のステートが表示されており、同じ図柄でもステートの違いにより加筆されたり、和紙摺りであったりと同じ作品でも状態の違いの比較が出来るように展示してありました。又、版画の原版とその作品が並べてある作品もあり、400年ほど前の貴重な原版が見られるなど大変面白い展覧会でした。先日名古屋で開催されたゴッホ展のようなひどい込み方ではなく、そうかと言ってながらも、適当な込み具合でした。

東京の展覧会のあと名古屋市美術館でも開催される予定となっておりますが、名古屋での入場者は果たしてどれほどあるのか……ちょっと気になるところです。

永井画廊の牧野邦夫展は油彩画・デッサン・版画をあわせ約40点ほどあり画廊での展覧会では大変見ごたえのある展覧会でした。

牧野邦夫は1986年に61歳で亡くなった画家で今回の展覧会は没後25年の展覧会でありました。牧野はレンブラントを目標に、どの美術の団体にも所属せず孤高の画家でありまして、画廊での展示販売を中心に5～600点ほどの油彩画を残しておりますが、どの絵も力のこもったすばらしい絵を描いておりました。没後25年もたつと作品が散逸して、なかなかまとまって見ることが出来無くなってきており、今回は久しぶりの展覧会らしい展覧会

でした。現在、練馬区美術館において、油彩画で100点を超えるような大きな展覧会を計画しておりますが、美術館での総合的な展覧会は20年ぶりとなります。最近はおークションなどで作品の行き先がはっきりしなくなるなど、作品が散逸しており、作品のリスト作成などかなり手間取っているようです。この中部地区にも牧野が若い頃から画廊にて展覧会を開催し、販売しており、多くの作品があるそうですが、所在がはっきりしていないものかなりの数あるようです。展覧会の開催にはまだまだ時間がかかり、準備に早くても2年くらいはかかりそうです。牧野邦夫の展覧会が開催されましたら是非ごらんいただきたいと思います。

健康診断



地区協議会



クラブフォーラム

卓話 「私のコダワリ」 ～仕事（車両開発）から趣味まで～

津田工業(株)

顧問（前社長）都築 功様



私は今思えば、仕事の環境から強いコダワリを持つ様になり、言わば職業病みたいなものかもしれません。1990年代初め頃、トヨタ車はどの車も「金太郎飴で面白くない」と特に若者から不評でした。私の立場、車両開発責任者としてそれを打破した

いとこの強烈な思いが、私のコダワリの原点です。それ迄の車両開発は、ややもすると従来車の改良を目指すものでしたが、私は車両の有るべき姿を明示し、その実現に向け新開発手法に挑戦しました。例えば、スーパー開発では少数精鋭チームを結成しレース場での評価・熟成をはかったことです。この様に従来と異なるやり方には、関連部署への説得が重要です。幸いにも、私の信条「ハードとソフトの融合」がこの局面に大いに役立ちました。

私の趣味（旅、巨木・滝めぐり）の面でもコダワリ、一味違う楽しみ方を目指しています。

旅では、会社の現地駐在員から穴場を聞き出して、あまり俗化する前にかけることを心掛けています。

以上、私のコダワリをご披露させていただきましたが、このコダワリが活力の源となり仕事、趣味にも良い結果をもたらすものと確信しております。

最近、漢字「慥」（たしか、ぞう と読みます）を見つけました。「心で造れば、たしかなモノに」と解釈しています。すなわち、ハード（造る）とソフト（心）の融合です。

4月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成23年4月14日(木)

於：名古屋グリーンCC

成績	氏名	G	H	N
優勝	神谷 光義	91	15	76
2位	天野 櫻子	81	4	77
3位	加藤 恒治	87	5	82
B B	關 淳之	120	18	102



第11回理事会

I 会長挨拶 <会長>

II 議題

- 5・6月のプログラム（案）について
<クラブ奉仕委員長>
<プログラム委員長>
- 新入会員について
<幹事>
- ロータリー文庫について
<社会奉仕委員長>
- カキツバタ支援金について
<環境保全委員長>

- 事務局ゴールデンウィーク休暇中の緊急連絡先について
<幹事>
- その他